

2025年10月期 第3四半期 IRミーティング資料

2025/9/16

2025年10月期 第3四半期実績

(単位：億円)

	2024 /3Q 実績	2025 /3Q 実績	増減	増減率
売上高	1,292	1,345	+ 53	+ 4%
売上総利益	298	278	▲ 19	▲ 7%
営業利益	123	104	▲ 19	▲ 15%
経常利益	169	116	▲ 54	▲ 32%
親会社株主に帰属する四半期純利益	128	90	▲ 38	▲ 29%

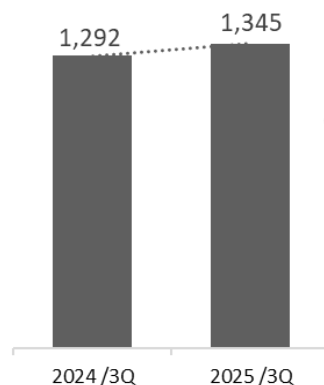
参考：平均レート

¥/ドル=152

¥/ドル=149

売上高

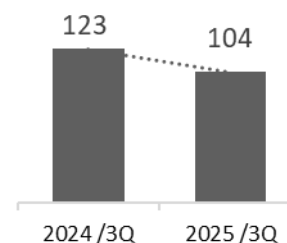
前年同期比 **+53** 億円



(+) すべての事業セグメントで増収

営業利益

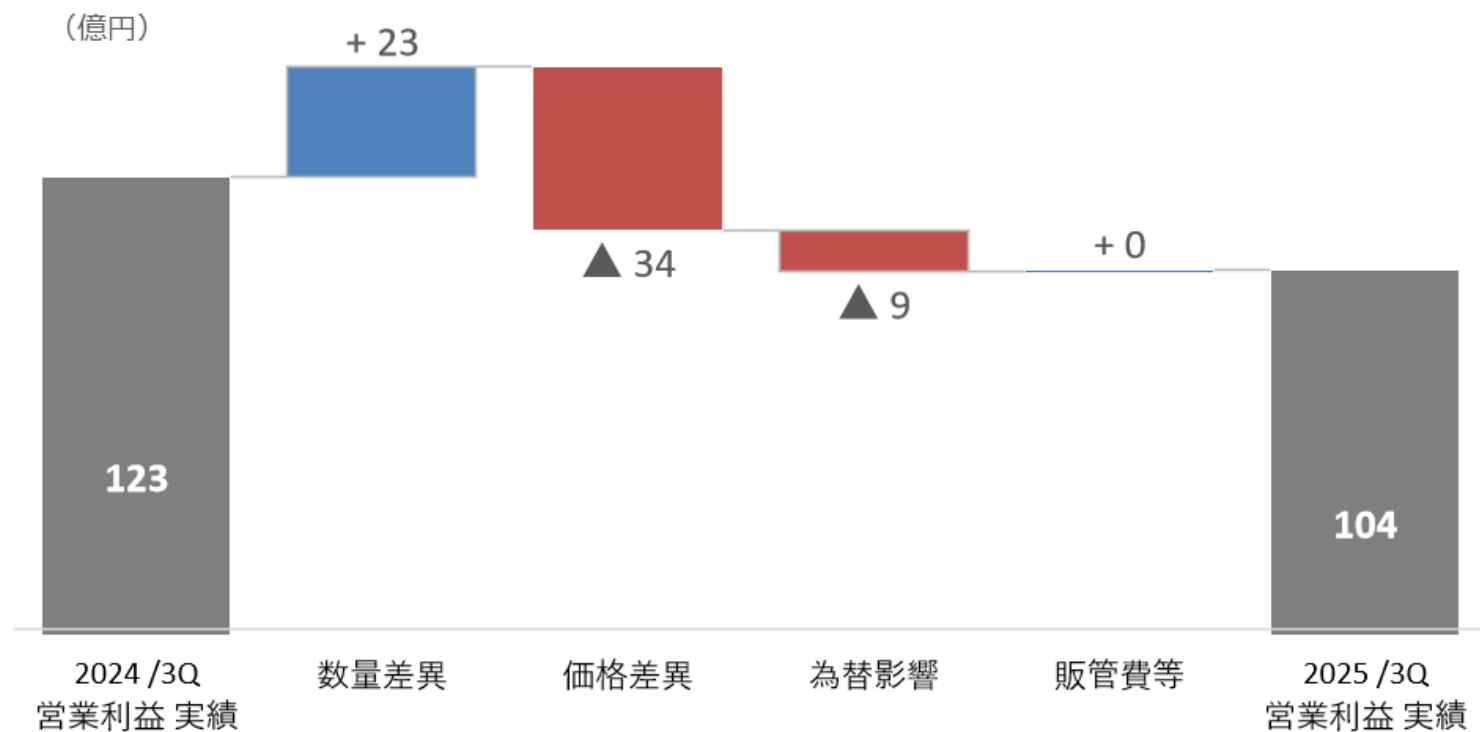
前年同期比 **▲19** 億円



(-) 農薬及び農業関連事業の減益
(+) 化成品事業の増益

営業利益率： 9.5% 7.7%

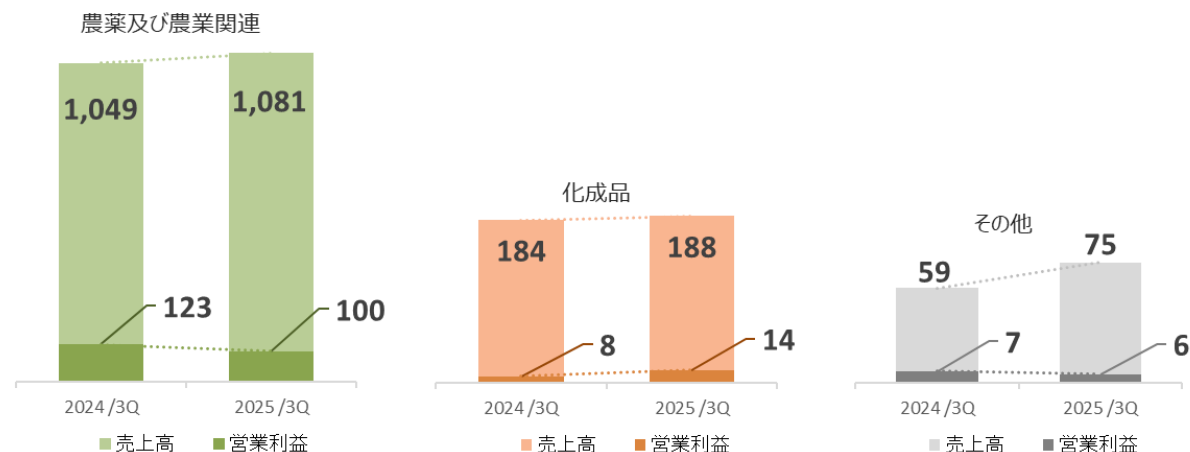
営業減益の要因



2025年10月期 第3四半期実績（セグメント別）

（単位：億円）

	2024 /3Q 実績	2025 /3Q 実績	増減	増減率
売上高	1,292	1,345	+ 53	+ 4%
農薬及び農業関連	1,049	1,081	+ 32	+ 3%
化成品	184	188	+ 4	+ 2%
その他	59	75	+ 16	+ 27%
営業利益	123	104	▲ 19	▲ 15%
農薬及び農業関連	123	100	▲ 23	▲ 19%
化成品	8	14	+ 7	+ 84%
その他	7	6	▲ 2	▲ 24%
（調整額）	▲ 15	▲ 16	▲ 0	-



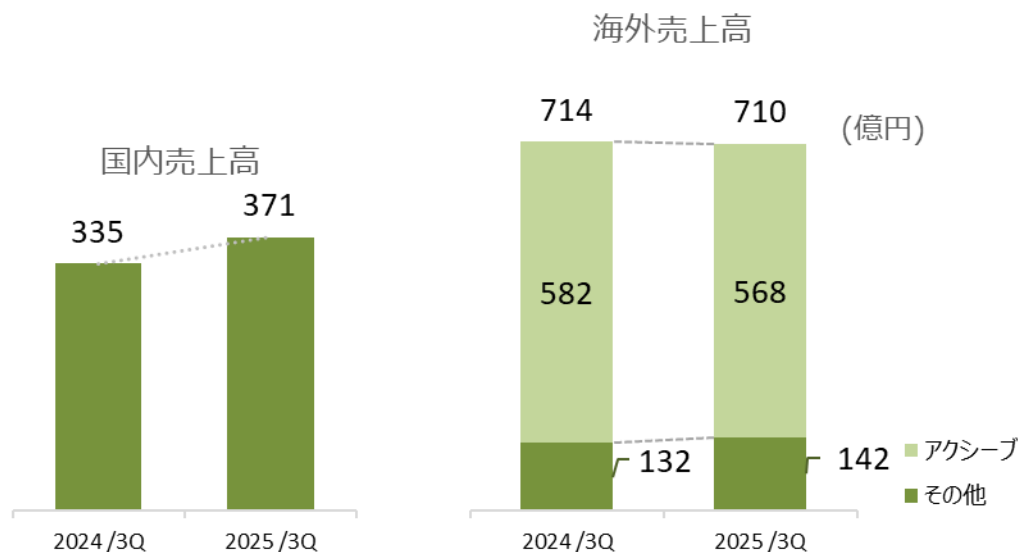
農薬及び農業関連事業

国内

- 除草剤「エフィーダ」を含む、水稻用除草剤が好調
- 殺菌剤「ディザルタ」を含む、水稻用箱処理剤も順調

海外

- 除草剤「アクシーブ」においてアルゼンチン、ブラジル向け出荷が減少した一方、米国、オーストラリア向け出荷が増加



アクシーブ概況



アメリカ

2025年度 :売上高計画 **450**億円 (前年実績 **420**億円)

当第3四半期 :売上高実績 **389**億円 (前年同期実績 **344**億円)

- 米国関税政策の変更に伴うコスト増を懸念した出荷前倒し
- 販社への販促支援強化による出荷増



オーストラリア

2025年度 :売上高計画 **23**億円 (前年実績 **32**億円)

当第3四半期 :売上高実績 **49**億円 (前年同期実績 **15**億円)

- 法対応が奏功し、年間計画を上振れ
- 5-7月度の出荷なし
- ジェネリック品の動向を注視

アクシーブ概況



アルゼンチン

2025年度 :売上高計画 **102億円** (前年実績 **139億円**)

当第3四半期 :売上高実績 **56億円** (前年同期実績 **134億円**)

- ジェネリック品本格参入の影響による出荷減
- 2025年売上高計画を下回る見通し



ブラジル

2025年度 :売上高計画 **62億円** (前年実績 **92億円**)

当第3四半期 :売上高実績 **64億円** (前年同期実績 **77億円**)

- 前年同期を下回るも、販促支援の強化が奏功し年間計画を上振れ
- 第4四半期も追加の出荷を見込む

化成品事業

塩素化

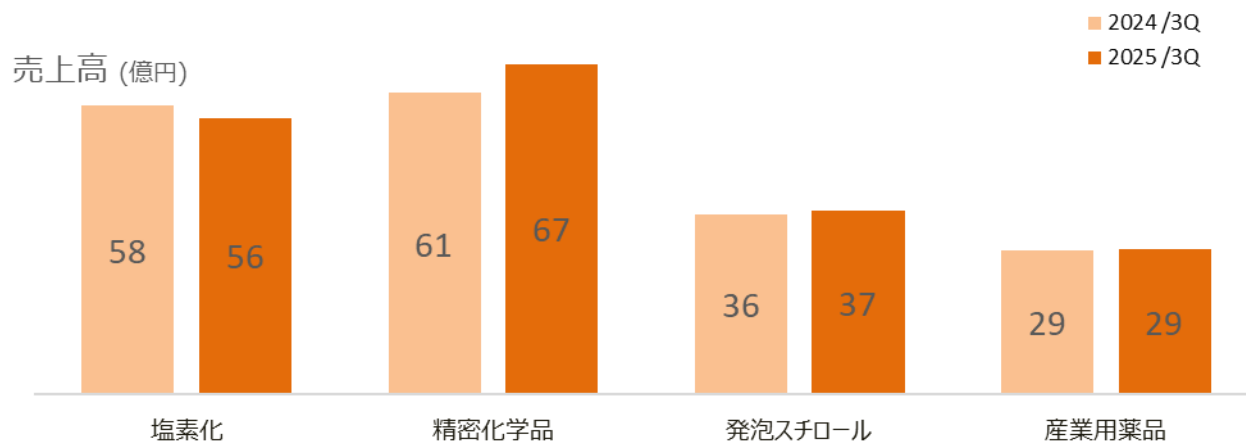
- クロロキシレン系製品の出荷減

精密化学品

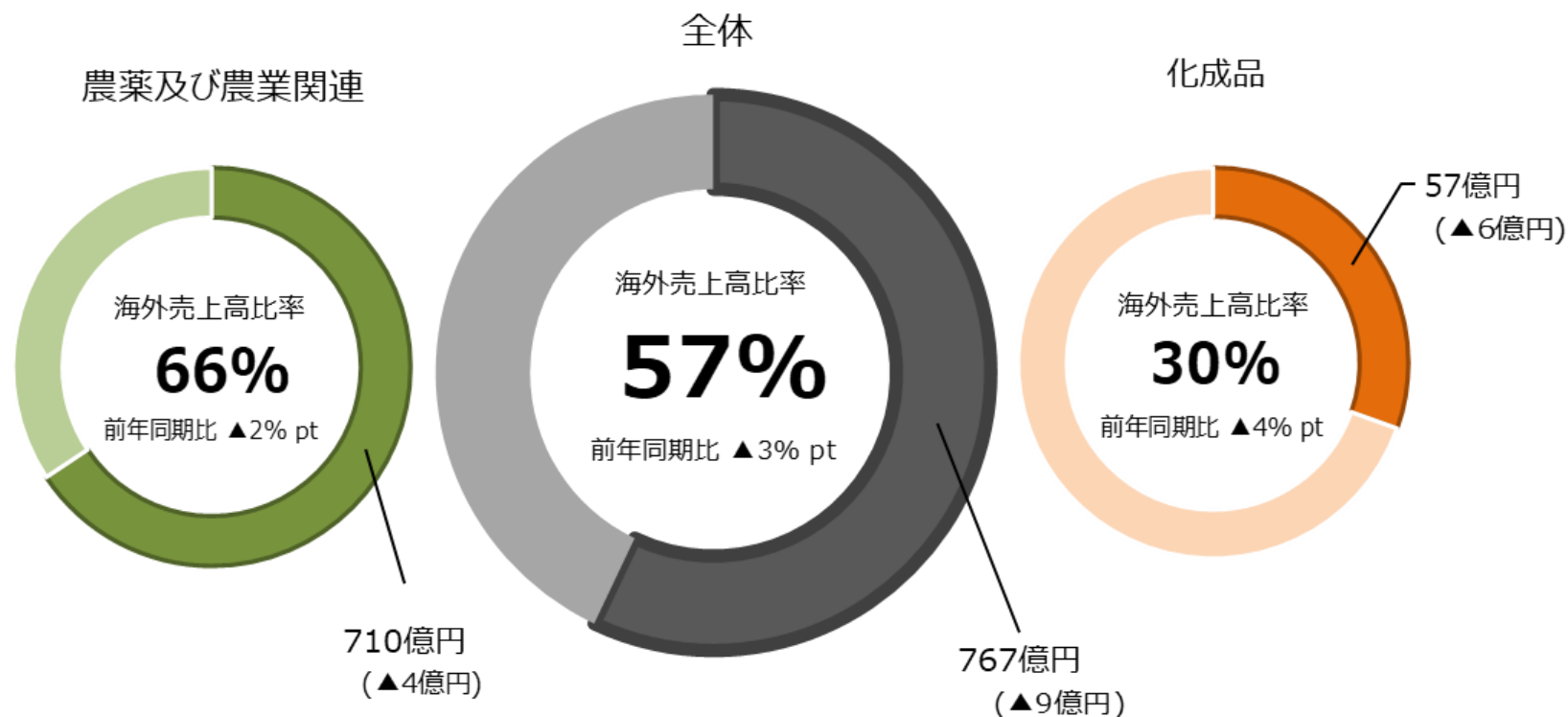
- 生成AIサーバー向け電子材料分野の需要好調によるビスマレイミド類の出荷増
- アミン類の出荷も堅調に推移

発泡スチロール・産業用薬品

- 前年同期並みで推移



2025年10月期 第3四半期実績（海外売上比率）



2025年10月期 第3四半期実績 総括

事業全体

売上高	1,345 億円	(前年同期比 +53億円)	・すべての事業セグメントで増収
営業利益	104 億円	(前年同期比 ▲19億円)	・農薬及び農業関連事業の大幅減益に加え、持分法による投資利益の減少、為替差損の計上により減益
経常利益	116 億円	(前年同期比 ▲54億円)	・円高による利益押し下げ

農薬及び農業関連事業

売上高	1,081 億円	(前年同期比 +32億円)	・国内向けは、殺菌剤「ディザルタ」を含む水稻用箱処理剤、除草剤「エフィーダ」を含む水稻用除草剤の販売が好調に推移したこと等により増収
営業利益	100 億円	(前年同期比 ▲23億円)	・海外向けは、除草剤「アクシーブ」においてアルゼンチン、ブラジル向け出荷が減少した一方、米国、オーストラリア向け出荷が増加
			・営業利益は「アクシーブ」のジェネリック品参入等への対策として価格対応を実施したため減益。

化成品事業

売上高	188 億円	(前年同期比 +4億円)	・生成AIサーバー向け電子材料分野の需要が好調に推移し、ビスマレイミド類の出荷増
営業利益	14 億円	(前年同期比 +7億円)	・アミン類の出荷も堅調推移

その他事業

売上高	75 億円	(前年同期比 +16億円)	・建設業における新規工事受注等の増加により増収も、
営業利益	6 億円	(前年同期比 ▲2億円)	資材価格の高騰等により減益

2025年10月期 業績予想（前期比）

（単位：億円）

	2024 実績	2025 予想	前期比	増減率
売上高	1,610	1,593	▲17	▲1%
農薬及び農業関連	1,281	1,235	▲46	▲4%
化成品	250	266	+16	+7%
その他	79	92	+13	+16%
営業利益	114	104	▲10	▲8%
経常利益	183	145	▲38	▲21%
親会社株主に帰属する当期純利益	136	109	▲27	▲20%

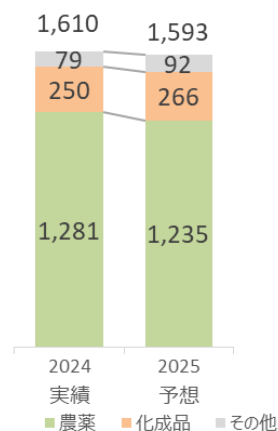
参考：平均レート

¥/ドル=151

¥/ドル=150

売上高

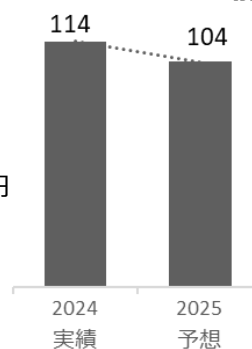
前期比 ▲17 億円



(+) 化成品の出荷増+16億円
(-) アクシーブの出荷減▲50億円

営業利益

前期比 ▲10 億円

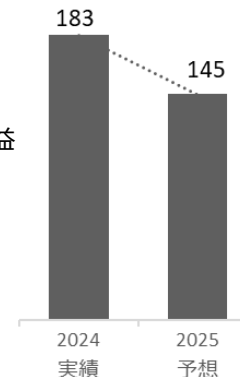


営業利益率： 7.0% 6.5%

(-) 減収に伴う営業減益

経常利益

前期比 ▲38 億円



(-) 持分法投資利益▲23億円

研究開発費・設備投資・減価償却費

研究開発費

2024年度実績 **70**億円 → 2025年度計画 **71**億円
 (主な内容) 海外開発への取り組み強化、最先端技術の活用による研究推進

設備投資

2024年度実績 **99**億円 → 2025年度計画 **85**億円
 (主な内容) 新プラント建設、生産設備・研究施設の更新

減価償却費

2024年度実績 **53**億円 → 2025年度計画 **52**億円

特許侵害品対応

- **13件**（製造国：中国**8件** / 販売国：オーストラリア**5件**）の提訴案件に対し**4件**について和解、他**9件**は係争中
 - 製造国と販売国の双方で法対応を並行して実施し、当社サイトでリリース
 - 特に製造国である中国と、販売国である豪州からのダウンロード件数が多い
 - 一連の対応は、特許侵害品の市場参入に対するけん制に有効に機能

2025年8月8日

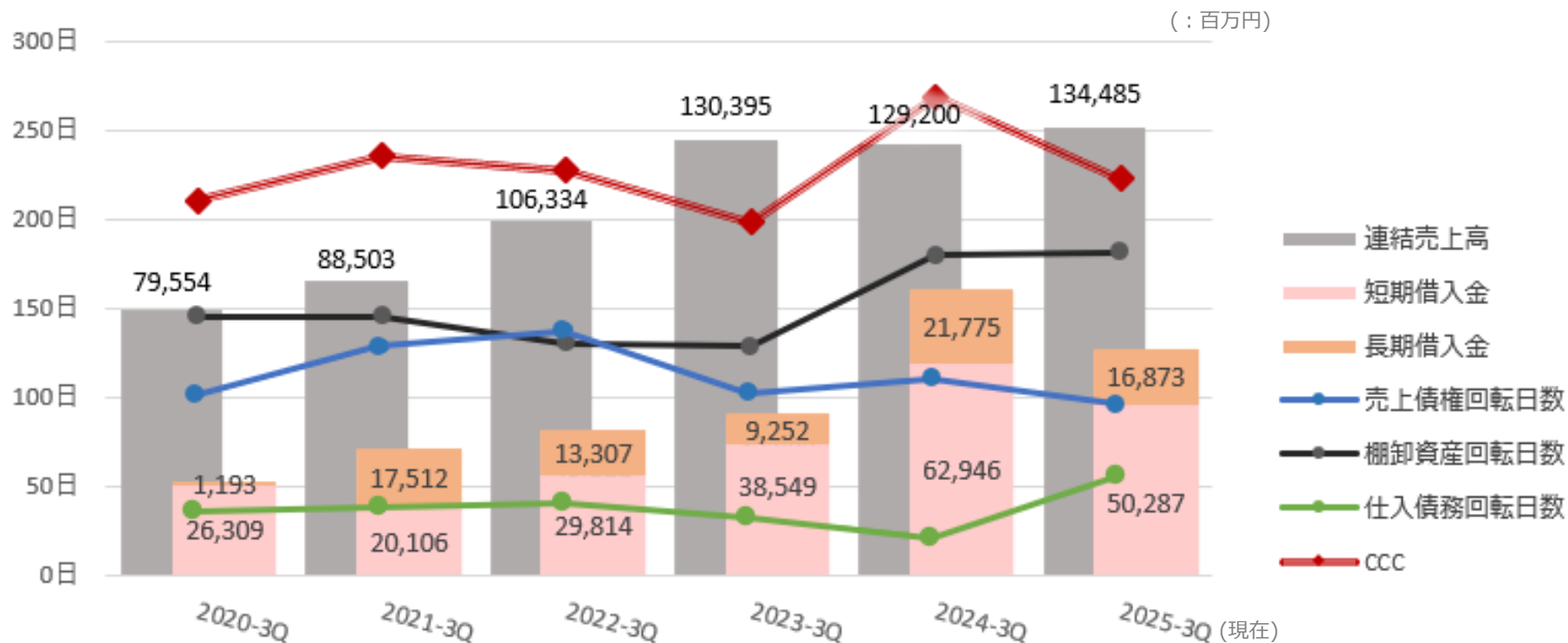
クミアイ化学工業株式会社

中国におけるピロキサスルホン重要中間体物質特許の有効性について

クミアイ化学工業株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：横山優、以下、「当社」）は、中国における当社保有の特許権（ZL201210121587.2）に対して2件の無効審判が請求されましたが、これら請求に対して中国国家知識産権局（以下、CNIPA）より同特許権が有効であるとの決定を受領したことを、お知らせいたします。

当社は、CNIPAによる本審判の決定は、当社の技術的発明を保護することを認めたのみならず、本特許の不正使用に対する当社の特許権行使の正当性を補強するものと考えております。

財務健全性の強化



- コロナ後の世界的な農薬の在庫調整により棚卸資産が増加
- キャッシュ・コンバージョン・サイクル（CCC）の長期化による短期借入金の増大が課題に
- 売上債権/仕入債務回転日数を改善、当社在庫の圧縮を推進
- 有利子負債は縮小傾向へ

自然に学び 自然を守る



クミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>
クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 経営企画部 企画課

弊社IRサイトもご覧ください <https://ir.kumiai-chem.co.jp/>